

佐藤のりゆきの 北海道デザイン



佐藤 のりゆき (さとう のりゆき)

キャスター、北海道大学客員教授

1949年札幌生まれ。72年HBCにアナウンサーとして入社、94年HBCアナウンサーからフリーに、番組制作(株)テレベックを設立、TV「のりゆきのトークDE北海道」メインキャスターを18年務める。この4月からHBCラジオ「土曜は朝からのりゆきです!」キャスター。2012年北海道独立研究会を立ち上げる。ソムリエ・ドヌール、医療法人社団延山会理事。主な著書に『のりゆきの痛快対談』『のりゆきの近未来経済』『のりゆきのこれがエッセイ!?!』『脱パンツ健康法』。

北海道は日本のお荷物？

この春、早稲田大学メディア文化研究会から講演依頼があり、上京しました。講演後に意見交換会があり、話の中心は北海道のことになりました。この意見交換会に参加したメンバーは、早稲田大学のOBや教授、新聞社やテレビ局の現役やOB、それに中央官僚のOBなどでした。話は、北海道は日本の何を担っているのかということまで進みました。

その時にある全国紙の新聞社OBが、こんな発言をしました。「北海道は日本のお荷物だからねえ」。北海道の私は、いや北海道で生まれ北海道で育ち北海道で何十年も仕事をしてきて、いつかはこの北海道に骨を埋める私には聞き捨てならない言葉!「それはどういう意味か?」と追求しました。

彼らは、「北海道は中央に依存してきた。今も依存度が大きい」と言うのです。私は反論しました。「北海道をそのようにしたのは、北海道ではない。昔から日本は旧自治省を中心に中央官僚を47都道府県の知事にと天下りさせ、長く居座らせた。そして、まるで知事を中央官僚の部下のように、言うことを聞かせてきたのは、あなた方でしょう」と私の前に座る元中央官僚に語気を強めました。北海道が依存したのではなく、依存させてきたのです。二年前にも私は霞が関で中央官僚といわれる人から「北海道は日本にぶら下がっている」と言われ、「もう中央依存北海道とは言わせない、独立の気概を持ち、自立北海道を目指そう」と、「北海道独立研究会」を11名のメンバーと立ち上げました。

これまで一年半、さまざまな分野の北海道自立のためのプランを作ってきました。もう、「陳情行政」ではやがてこの北海道丸という船は沈没してしまうと思ったからです。

北海道は、財産が豊かでやる気のある人たちがいるのに、なぜいつまでも依存していると言われるのか。それは北海道に漂う空気と土壌が悪いのです。空気と土壌の入れ替えが必要です。それには、北海道民の気概と覚悟が大事です。

そして最も必要なのは、北海道が豊かになるための企画です。この十年、北海道は企画力も実行力もありませんでした。霞が関の言うことを聞くだけの依存北海道のなにもものでもありませんでした。

空気と土壌を替えるとは。まず、北海道のシステムを変える事、お金の使い方を変える事、新鮮な発想で企画を生み出す事です。

北海道自立のための11のプラン

実質公債費比率が47都道府県のワースト1だからといい、道庁職員の給与をまるで財政調整基金のようにして、6兆円近い借金を返すだけかのような予算の組み方で、市町村の良いプランを支援しようとせず、まるで水も飲まず息もせずのような状態では、北海道は豊かになるどころか沈没に向かうだけです。

そうさせないためには、予算の組み方を変え、北海道自らお金を生み出せる分野にお金を使う。そして、新産業を生み出す。

私は北海道自立のためのプランを作りました。北海道が豊かに、住む人々が面白く生きるための11の企画です。農業、観光、交通、インフラ、福祉、医療、そして新産業、14総合振興局・振興局のあり方と北海道のシステムなどです。坂本龍馬の船中八策ならぬ、佐藤のりゆきの道中八策です。

このプランを、専門家との対談で生み出していくという手法で、『佐藤のりゆきの新北海道デザイン』と題した本にまとめ、9月に出版します。

20年後には北海道の人口は100万人も減少、その後も減少し続け北海道の人口は400万人を割る将来予測があります。この人口減少の原因は、20代と30代の人たちの流出です。仕事がない、収入が低い、住むところがないのです。

これほどの人口減少は、大幅な税収不足となります。この結果、インフラ整備もままならず、特に過疎地に住む人たちは住み慣れた故郷を離れざるを得ません。地域医療も福祉サービスも満足のものではなくあります。

そのために、新産業の創出を直ちにしなければなりません。また、北海道は一次産業と観光で生きると言っても、農漁業の担い手不足を解消するための改革も急務です。観光業の発展のための観光予算も青森県の3分の1、6億5千万円では何もできません。北海道には金がないから我慢せよと言われるますが、それでは駄目で、国からの金をあてにするのではなく、自ら金を産み出す企画が必要なのです。この『佐藤のりゆきの新北海道デザイン』には、観光予算を北海道自ら30億円以上も産み出す政策プランなど、今すぐやらなければならぬ11のプランがあります。

そして、9月20日に佐藤のりゆきと語る会「変えよう！変わろう！北海道！」という、出版講演会と道民みんなで語る会を開催すべく、仲間の実行委員会が準備を進めています。多くの道民の皆さんとお会いしたいと思います。ぜひふるってご参加ください。

これからの北海道のリーダーに必要なのは、企画力と実行力、そして霞が関と戦い北海道を死守する腕力なのです。財産が豊かな北海道は、持続可能な地域になるのです。「脱 陳情行政」なのです。北海道は地方ではなく、私たちが住んでいる地を中央という意識で頑張るのです。

佐藤のりゆきと語る会

「変えよう！変わろう！北海道！」

～北海道をもっと豊かに、住む人々が面白く、自立して生きるためのプラン～

○開催日時 2014年9月20日(土) 14時開場

15時開演(参加費:無料)

17時懇親会

(参加費:5,000円/新刊2冊贈呈)

○会場 ロイトン札幌3階ロイトンホール

(札幌市中央区北1条西11丁目)

○主催 変えよう！変わろう！北海道！実行委員会

○お問合せ先 Tel: 011-641-8639

E-mail: information@ezu.ne.jp